

全国過疎地域
自立促進連盟
会長賞

福島県三島町

一般社団法人 IORI倶楽部

地域と共に生き、「住みつなぐ」ための仕組みづくり



地域の木材を活かした住まいの提案を行うためのコンセプトハウスを建設。薪ストーブを囲み今後の活動について話が弾む会員。

事例の概要

一般社団法人 IORI 倶楽部は、地域の山から産出される木材資源を持続可能な形で最大限に活用していくことを主眼に、育林家や会津地域の建築、設計、木材加工等の様々な小規模事業者が幅広く連携しながら、互いに切磋琢磨し合う研鑽の場として活動をスタートさせた。

現在では、農家やモノづくりの職人、教師、学生、専門家やアーティストなど、多彩な能力や多様な考えを持った人々と連携を取りながら、「地域の人々の持続可能で豊かな暮らしの実現」と「時代を切り開く新しいライフスタイルの創造」に取り組んでいる。

具体的には、会津材の特徴と地元の伝統技術を活かした木造コンセプトハウスの設置・運営や古民家をシェアオフィスとして再生し、中山間地域にベンチャー企業の進出を図るとともに、定住を促進させるなど、個々の専門性を活かしながら過疎地域共通の困難な問題に正面から取り組んでいる。



一般社団法人 IORI 倶楽部のみなさん

評価のポイント

三島町をはじめとする奥会津地域は、森林面積の割合が高い地域であるが、当該地域を含む県内の林業就業者数は、昭和 60 年から平成 17 年までの 20 年間で 6 割も減少している。また、三島町の空き家率は年々高まる一方で、町内には約 100 戸もの空き家が存在している。

このような状況の中、IORI 倶楽部では、奥会津の山の力を活かし、里の生活を支えるため、「地域と共に生きるための持続可能なライフスタイルを創造する」ことを目的として、独自の板倉工法を活かした交流スペースの設置や古民家のリノベーション事業などを進めながら、地域内外の人々との交流を深める活動を展開している。

地元温泉の脇に設置した交流スペース「つるの IORI」は、独自の板倉工法を活かした建物であり、飲食や交流サロンとして活用されており、地産地消の料理を提供する新たな交流の拠点となっている。

また、空き家の増加に歯止めをかけるために古民家をリノベーションし、貸し出しており、「清匠庵」と名づけられた古民家オフィスには、東京から IT 系ベンチャー企業が進出・入居している。こうした企業のネットワークにより、IT 系ベンチャー企業や有志が短期滞在するなど、IORI 倶楽部のメンバーや地元住民との交流の促進が図られている。

本事例は、奥会津の山林資源を、新たなライフスタイルの発信とつなげながら魅力として伝え、産業化・定住振興までを視野に入れた取組が幅広く行われている点が評価された。



女性のためのアートプログラム：地域に点在する子育てや暮らしの安寧を願うための石仏やお堂をフィールドとした、女性向けのアートプログラムを開催し、世代を超えた交流を行った。



アーティストインレジデンス：北畠からアーティストを招き、会津での滞在制作と展覧会を開催した折に、農家の居戸裏で交流会を行い、互いの職の歴史や文化について語り合った。



100年杉の伐倒見学会：樹齢100年を超える杉の木を伐倒し、会津の山での切り旬である3月に、一般の方を対象とした研修会として開催した。

DATA

福島県三島町（みしまち）

団体名 ● 一般社団法人 IORI 倶楽部
所在地 ● 〒969-7406 福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平687番地
連絡先 ● TEL:080-1688-9643
E-mail:iorikurabu@gmail.com

【交通のご案内】

自動車 ● 磐越自動車道 会津坂下 IC より約30分
関越自動車道 小出 IC より約140分(冬期間通行不可)
鉄道 ● 東北新幹線を利用する場合
郡山駅から会津若松駅まで約1時間5分(JR磐越西線)
会津若松駅からは早戸駅まで約1時間30分(JR只見線)



▶ 国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
5,803	3,389	2,474	2,250	1,926

▶ 人口増減率（単位：％）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-66.8	-43.2	-22.2	-14.4

▶ 高齢者・若年者比率（H22年）（単位：％）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
46.8	7.1